

令和5年度 児童相談所関連研修

児童心理司(1～2年目)Ⅱ

日 程

11月20日(月)、21日(火)
【2日間】

対 象

児童心理司1～2年目の職員
子ども家庭福祉行政に携わる職員【定員80名】

ねらい

児童心理司(1～2年目職員)として求められる役割を理解すると共に、基礎的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子どもと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他機関との連携によるケースへの対応力を習得する。

場 所

特別区職員研修所(東京区政会館別館)
(千代田区九段北1-1-4)

※研修カリキュラムは、次ページに掲載しています。



児童心理司（1～2年目）IIカリキュラム

11月	教科目・講師名（敬称略）	内容
20日 （月）	9：00～13：00 ・被虐待児の評価とケア【講義】 ・性加害、性被害児童への対応 ～心理司としての留意点～【講義】 【講師】埼玉県中央児童相談所 常勤医師	児童心理司として、被虐待児を適切に評価しケアする方法や、性加害・被害児童に対応する方法を、症例を交えて学びます。
	14：00～17：00 カンファレンス、コンサルティングに求められる技能【講義・演習】 【講師】東京都児童相談センター 保護第一課 職員	保護者へのフィードバックや関係機関へのコンサルテーションの場面を想定し、心理学的な知見を伝え理解してもらう技術を学びます。
21日 （火）	9：00～12：30 子どものアセスメント（描画） 【講義・演習】 【講師】上智大学 総合人間科学部 心理学科 教授 横山 恭子	風景構成法を中心に、描画によるアセスメントを事例や演習を通して実践的に学びます。
	13：30～17：00 アタッチメントとトラウマの理解 【講義・演習】 【講師】総合母子保健センター愛育クリニック 小児精神保健科 部長 小平雅基	児童虐待によって引き起こされるトラウマやアタッチメントの問題への理解を深め、そのような問題を抱える子どもの支援について学びます。
計	14時間（2日間）	

【問合せ先】特別区職員研修所 教務第2課 児童相談研修係

TEL：03-6261-1559